

しながわ ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2013年度 Vol.1

環境情報活動センターでは 年間33回の環境学習講座を開催 (2012年度実績)

さき布から「ぞうり」を作ろう

4月28・29日

講師 ぞうり研究家 宮嶋清司氏

家庭にある余り布や、もう着なくなった衣類を裂いてオリジナルの「ぞうり」を作りました。限りある資源をリサイクルすることで、物を大切に作る心や、創作する楽しさを多くの方々に学んでいただく講座です。2日間の連続講座で一足のぞうりを完成させました。



初日の作業はぞうり本体をつま先から18cmまでを編みました。最初の出だし部分をクリアすれば、あとは手つきも滑らかです。

2日目は鼻緒と前緒を付けます。鼻緒は、縄あみ鼻緒、三つ編み鼻緒、ソフト鼻緒の3タイプがありますが、本講座で作るのはソフト鼻緒です。皆さん、近くの方々と協力して完成までの作業を楽しんでおられました。



参加者からは、「前々から興味があり、念願叶ってやっと当選しました。完成まで体験できて感激もひとしおです」との声が聞かれました。

「ぞうり」ができ、友達もできて、ハッピーで充実した2日間となったようです。

牛乳パックで作る

「紙とんぼ」と「びっくり箱」 5月6日

講師 子供向けワークショップ 開催団体代表 水野さゆり氏

牛乳パックなどの飲料用の紙パックは、間伐材や加工時に出る余った部分を原料として作られています。飲料用紙パックがしっかりとリサイクルされていることを学んだ後、紙パックを使って[びっくり箱]と[紙とんぼ]作りに挑戦しました。

【びっくり箱】

写真の様に紙パックをカットし、輪ゴムを付けた数枚の紙パック片を箱の中に入れます。箱のふたを開くと・・・紙パック片が勢いよく飛び出るので、顔を近づけないよう注意して行いました。



【紙とんぼ】

紙パックの胴の部分から、とんぼの羽根となる2.5cm×9cmの紙片2枚をカットします。ストローの端に切り込みを入れ、紙片2枚を差し込んで‘ホチキス’で留め、左写真のように羽根を曲げます。さて飛ばしてみましよう。



教室の中はみんなの明るい声でいっぱいでした。

今年こそ緑のカーテンを作ろう

5月12日

講師 しながわ区民公園管理事務所長 丸山均氏

前半は種まきから苗の植え付けまで、講師の昨年の観察記録（右写真）、育成環境、適温、用土、肥料等の詳しい解説があり、後半は実習でした。



参加者には種の植え付け鉢としてプラスチック製のトレーと紙製のエコ鉢が配られました。紙製のエコ鉢は鉢のまま移植でき、環境にやさしいすぐれものです。種はゴーヤと朝顔の二種類が配られました。ゴーヤの種はとても硬いので発芽しやすくするため、種の尖った方を爪切りなどでカットします。種は切った方を上にして入れ、土をかぶせます。

紙のプレートに日付を入れて差し込み、たっぷりと水遣りをしました。本日の実習はここまでです。

家に持ち帰り本葉が2~4枚揃ったら本植えです。プランターに鉢底石、赤玉土、培養土の順に入れ、苗を植え付け、水をたっぷりと与えます。

40日ほどでツルが伸び出し、添え木が必要になります。（左写真）

設置場所が高層住宅の場合は人工授粉の必要があります。バルコニーでの花芽への授粉作業は危険も伴いますので、十分注意しましょう。



しながわ中央公園をメイン会場としてしながわECOフェスティバル2013が開催されました。

濱野区長の挨拶の後、資源リサイクル活動等を推進してきた25団体に対し、感謝状と記念品が贈呈されました。



●ステージアトラクション

恒例のステージアトラクションは今年も健在です。各種のアトラクションが、観客の盛んな喝采を浴びていました。



●くらしを守る青空市

品川区消費者団体連絡会主催による青空市では、「新鮮なもの 安全なものを即売！」ののぼりが、野菜や果物を求めるお客さんをお呼びしていました。



●ごみ、資源回収

回収容器の準備ができました。使った人（お客さん）や高校生のみなさんの協力により、きれいに分別回収されていました。



●再生園芸土の無料配布及び不用園芸土の回収

このコーナーも大人気でした。用意した再生園芸土800袋は、午後早くなくなりました。



●「エコな車」乗車体験

次世代エコカー「燃料電池車」(写真右)の乗車体験をしました。聞こえる音はタイヤと道路の摩擦音とエアコンの音だけでした。

電気自動車(写真左)もそうですね。



私にも始められる育エネ・省エネ生活

5月19日

講師 家庭の省エネエキスパート 林彰一氏

前半は「育エネ・省エネ」についての講義がクイズを交えて行われ、後半はグループに分かれて節電について活発な情報交換、意見交換がありました。



「育エネ」とは、まだまだ馴染みのないことばで、ことばの意味とともにその取り組みの具体的な方法をお話いただき、省エネについては家庭でできる省エネの知恵を教えてくださいました。知ると知らないとは大違い！ 講座を聴いて得した気分になりました。

講師から、太陽光発電をはじめとして自宅で行っている「育エネ・省エネ」について、数値を交えた説明があり、受講者の皆さんは体験を共有することができました。また今後実行できそうな行動のヒントにもなりました。

更に、実用的な育エネ・省エネ情報について、最新の動向を踏まえた紹介もあり、熱心に受講して頂いた皆さんにとって、実り多い2時間だったと思います。

講座では、太陽光で発電した電気を貯めたリチウムイオン電池がパソコンとプロジェクターの電源として使われました。まさにグリーン電力の講座ですね。



生物多様性って？

生物多様性って…

生き物がたくさんいることでしょうか？

色々な生き物がいることでしょうか？

これから4連載で生物の多様性をなぜ守らなければならないのかについてお話しします。

生物多様性を守る国際的な取り決めを書いた条約として、生物多様性条約があります。生物多様性条約には、次のように書いてあります。

「‘生物の多様性’とは、すべての生物（陸上生態系、海洋その他の水界(すいかい)生態系、これらが複合した生態系、その他生息又は生育の場のいかなを問わない) の間の変異性をいうものとし、種内の多様性、種間の多様性及び生態系の多様性を含む。」

「色々な種類がいること」とか「数多くの生き物がいること」など一言も書いてありません。条約の文章は難解ですが、キーワードは「変異性」です。

三省堂の大辞林では、「同種の生物の個体間にみられる形質の相違。普通、環境変異などの非遺伝的変異と、遺伝的な突然変異に大別する。」とあります。

例えば、同じ種類の植物でも咲いている場所によって花の色が違ったり、同じ種類の生き物であっても遺伝的に離れていることがあります。

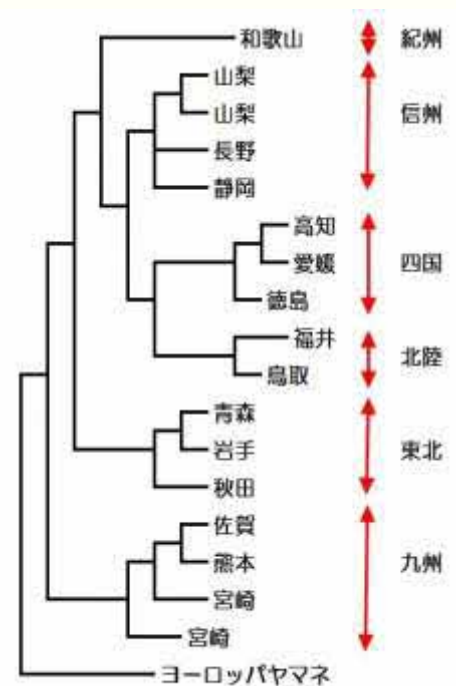


最近ではDNAの研究が進んでいます。写真は、ニホンヤマネです。日本には一種類しか生息していません。最近の研究では、6つの異なった遺伝子のグループがあり、特に九州のニホンヤマネは、日本列島が作られていく早い段階で枝分かれしています。(下図)九州の特異的な環境の中で育ち、生き残ってきた生き物なのです。

このように同じ種類でも遺伝子の系統が違っていることを遺伝子の多様性と言います。

同じ種類と思っても遺伝的に異なっていることも多く、安易に移動してはいけません。

ニホンヤマネは森の中に棲んでいる生き物なので、森林の伐採などによる生息場所の破壊の影響で絶滅の恐れが高い生き物なのです。



図：ニホンヤマネの種内多型の維持機構の解明(安田2007)の略図

草刈秀紀氏

(「野生生物と社会」学会フォーラム誌編集委員)

環境記者活躍中

「五反田綺麗にし隊」(清泉女子大学)は、五反田駅周辺や駅前の植え込み、タクシー乗り場のごみ拾いを定期的に行っています。

清掃活動を通して地域との交流を図りながら、ごみを捨てない街づくりを目指しています。綺麗で住みよい五反田の街を地域の方たちと共に作っていきたいと考えています。

昨年の「社会貢献活動しながわ」で出会った他の地域のグループと、ボランティア清掃活動を通じた交流も行っています。



区民環境記者募集中

環境情報活動センターでは、現在「区民環境記者」を募集しています。

花の開花情報、地域の環境イベント情報など、身近な環境情報をメールなどでお寄せくださる方を区民環境記者として登録します。いただいた記事や写真は環境情報活動センターのホームページなどに掲載します。区内在住、在勤、在学で環境に興味のある方のご応募をお待ちしています。

詳細は環境情報活動センターまで

E-mail : center@shinagawa-eco.jp

TEL : 03-5742-6533



環境情報活動センター 夏の講座ご案内

夏休み子ども環境学習講座

①②共通 対象/小学生(3年生以下は保護者同伴)

①生きもの博士になろう!

自然とのふれ合いから生きものについて学び、エコな作品作りに取り組みます。

日時/7月21日, 28日, 29日

(13時30分~15時30分)



写真は昨年開講時の写真

②キッチンからはじめるエコロジー 地球にやさしい旬の料理をつくろう!

身近な食を通して、楽しみながら環境について学びます。買物・調理・後片付けなど、すべての内容で環境に配慮した料理の作り方を学びます。

日時/8月7日, 8日, 9日(14時~16時)



●間伐材を使って 楽しい工作をしよう

(小学1~3年と保護者)

自分で作った「世界で一つだけの積み木」を使ってゲームを楽しみます。

日時/8月11日(日)

14時~16時



参考写真

●段ボールおもしろ教室 ~子ども用のイスを作ろう

(小学生と保護者)

段ボールについてのクイズ遊びやイス作りを楽しみます。

日時/8月23日(金)

14時~16時



●環境自由研究フェア (小学生)

環境に関する本を参考に自由研究に取り組んだり、実験道具を使って体験学習ができます。

日時/8月18日(日) 10時~16時(時間内、自由に)

場所/環境情報活動センター セミナールーム

講座の名称、開催日、内容などはいずれも予定です。応募方法等については「広報しながわ」や品川区環境情報活動センターのホームページに掲載します。

しながわECOだより 2013年度Vol.1

発行: 品川区都市環境事業部環境課

編集: 特定非営利活動法人

エコタウンしながわ

発行日: 平成25年6月18日

住所: 〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX: 03-5742-6533

E-mail: center@shinagawa-eco.jp

HP: <http://shinagawa-eco.jp/>

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう

しながわ ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2013年度 Vol.2

今年も

小学生が夏休みに

環境をテーマとした勉強と実験、工作 を楽しみました

生きもの博士になろう 7月21,28,29日

(環境情報活動センター、しながわ中央公園)

講師：NPO法人生態教育センター 佐藤真人氏、河野慶子氏

①みる、きく、さわる…！ 五感で自然遊び

葉っぱの形の違いを観察し、さわったり、ニオイをかぎ分けたりしてそれぞれの特徴を学びました。

公園で摘ませていただいたハーブ



(ローズマリー)を使って石けんを作りました。

②遊んで発見！植物の魅力

公園の葉っぱを観察し、植物探しのビンゴゲームを行いました。植物について楽しく学ぶとともに、葉っぱのスタンプでエコバック作りをしました。



③生きものに挑戦！

アリは、食べ物を巣に運ぶときなどは、ニオイをもとに移動します。アリのようにニオイをもとに目的地に移動するゲーム

を行いました。葉っぱや小枝を使って昆虫カードを作りました。



キッチンからはじめるエコロジー

地球にやさしい旬の料理をつくろう！

8月7,8,9日(きゅりあん調理講習室)

指導：東京ガス株式会社中央支店

エコクッキングインストラクターのみなさん

講師による「買物→料理→片付け」に至る一連の流れと調理の際のエコポイントについての説明の後、早速調理にかかりました。



今日の料理は、

<おやき> <カラフルベジスープ> <焼きおにぎり> <ミルクーいちご白玉>の4品と盛りだくさんでした。



調理の際のエコポイントをおさらいしましょう。

・旬の食材を買う・無駄なく使う・生ゴミを濡らさない・ガスの火はナベ底をはみ出さない・ナベ蓋をする・チラシをごみ入れとして使用する・汚れた皿は古布で拭いてから洗う……

環境自由研究フェア開催(小学生と保護者) 8月18日



夏休みの自由研究の参考になる本やセンター保有の実験器具、過去の講座での製作物を紹介。実際に手で触れて頂きました。

空気砲、雲発生実験器やペットボトルでの雲作り、不思議な噴水、牛乳パックで作ったびっくり箱などが興味を持たれていました。



こんな講座を開催しました 平成25年6～9月

知って得するLED照明を使ってみよう

(一般) 6月16日

LED照明推進協議会広報委員長 小宮章利氏

LED照明について学んだ後、LED電球やシーリングライトのお得度の計算をしたり、LEDキーホルダーを小さな十字ドライバーを使って分解しました。またLED照明への切り替えのポイントと注意、そのタイミングについて知ることができ、大変参考になったとの声がありました。



牛乳パックとペットボトルを使って不思議な噴水を作ろう

(小学生と保護者) 7月14日

蔵前理科教室ふしぎ不思議 小林正延氏

上の皿に注いだ水が下のペットボトルの中へ落ちると、下のペットボトル内の空気圧が、ゴム管を通り上のペットボトルへ伝わり、その圧力で上のペットボトルの水が噴き出す仕組みです。噴き出した水は皿に落ち、また下のペットボトルへ流れるので、噴水が出続ける…というわけです。



手回し発電機での発電実験と簡易モーター作り

(小学生と保護者) 6月23日

クリーンエネルギー江東・事務局長 山下浩三氏

電気を作ることの大変さを手回し発電機で体験した後、簡易モーター作りに挑戦しました。実験や工作を通して電気



の大切さを学び、節電を考えるきっかけになったと思います。

間伐材を使って楽しい工作をしよう

(小学生低学年と保護者) 8月11日

榊樹楽製作所マネジャー 佐々木重孝氏

森と動物と私たちの間には深いかわりがあることや、適度に木を切ること(間伐)の必要性を学んだ後、のこぎりを使って木を切りました。



積み木を使ったゲームをグループに分かれて行い、大いに盛り上がりました。帰りには積み木のプレゼントもありました。

夏休みに向けて「自然に親しむ」達人になろう

(小学生と保護者) 6月30日

環境省環境カウンセラー 倉田智子氏

身近にある自然の観察について学びました。樹木一本でも季節や、一日のうちでの時間のずれで、別の光景を見つ



けることができます。

植物の「花が咲く→実る→芽を出す」という経過も、観察の要素です。

つる植物を使って、五感で観察する方法を体験しレポートの書き方も教わりました。

段ボールおもしろ教室

(小学生と保護者) 8月23日

レンゴ(株)包装技術部 牧内隆文氏、岸広幸氏

段ボールのリサイクル率はなんと98%、リサイクルの優等生ですね。段ボールの特徴・作り方についてクイズを交えて学びました。



また段ボールを組み立てておもちゃ箱にもなる椅子やカバンを作りました。

新エネルギーの現状と今後 (一般) 7月7日

日本国際戦略問題研究所所長 津田慶治氏

今後のエネルギー源のあり方が大きな問題となっている昨今、期待される新しいエネルギーとその実現に向けての難しさ、その一方で明るい見通しなど、分かり易くお話して頂きました。



昭和シェル石油(株) 雪国型メガソーラー発電所

台風と地球温暖化

(一般) 9月8日

気象予報士 大島正幸氏

雲って何? どうしてできるか? 台風とは? どうして日本に向かってくるのかなど、日頃の疑問が解けました。また地球温暖化との関係を学ぶとともに、その最新情報も聞きました。



私たちの活動紹介 古布の七変化～洋服から小物まで～

私たちのグループ「リメイク絆」は、「箆笥の肥やし」になっている洋服、着物等を利用してコートやバッグなどを作っています。

「箆笥の肥やし」は思いのほか多くあり、いずれも父母や祖父母の思い出がいっぱい詰



まった品物です。皆様方のお家にもあると思います。いかがでしょうか？そのままにしておくのはもったいない、そんな気持ちが私たちをこの活動に駆り立てました。「捨てないで、生れ変って、また役に立つ」を活動テーマとして、3年前に12人の仲間です。今では30人以上にメンバーが増え、毎週1回集まって制作を楽しんでいます。

作品の一例をご紹介します。

● 和服や洋服などの衣類（私たちが着ているものはいずれもリメイクしたものです）

● バッグ、帽子、小物類など

活動を始めて3年になりますが、これまでに作った品数は数百点にも及んでいます。

これらの作品をバザー等で販



売し、収益金から制作にかかった最低限の材料費を



引いた金額を、昨年と今年、東日本大震災の被災地に寄付しました。

生物多様性って何？ 種の多様性とは

様々な生きものは、地球の大きな胎動の中で多様な変化にさらされながら、培われてきました。地域で育まれた生きものと生きものつながりは、様々な変化に対して、その関係が「変われる力」をもっていることを意味します。

前号で生物多様性の変異性が大事なことを書きましたが、変異性の英語は"variability"で、これは'vary(変わる)+ability(力を持つ)'という言葉となります。

「変われる力」を持ったいろいろな種類がいることを「種の多様性が高い」と言います。

「種」とは、そこに含まれる個体としか遺伝子を自由に交換しない「繁殖上の単位」です。同じ種の個体はその形、体色、習性、行動など独自の特徴を保っています。種の祖先を同じくしながらも、長い時間の経過の中でさまざまな偶然に遭遇し、他の生きものと食う・食われるの関係や種内の競争や共生、寄生などの関わりによって、その姿形、生き方を変化させ、分かれたかけがないものなのです。



静岡県天城湯ヶ島町
荒原の棚田

日本の棚田百選より

<http://www.tamano.or.jp/usr/sumiyosi/sub10.html>

世界には、様々な動物・植物が生息・生育しています。現在、未知のものも含めると約3,000万種の生物が地球上に存在していると言われていています。

ちょっとイメージするのが難しいので、身近な田んぼを見てみましょう。「田んぼの生物多様性指標・企画委員会」の調査結果によれば、田んぼには5,668種の生きものがいるということです。特に多かったのは植物の2,075種、そして昆虫の1,726種でした。

様々な生きものの織りなす田んぼは「変われる力」を保っているアジアの代表的な種の多様性が高い地域なのです。伝統的な知恵や伝承によって受け継がれた田畑や棚田は、現在「環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)」の脅威にさらされています。第一次産業が衰退するということは、日本の種の多様性が損失することにつながります。



宮城県大崎市田尻の蕪栗沼のマガン

<http://blogs.yahoo.co.jp/oshi-non777/1170039.html>

草刈秀紀氏

(「野生生物と社会」学会フォーラム誌編集委員)

緑のカーテンで猛暑の夏を乗り切りました



5月12日に開催した講座「今年こそ緑のカーテンを作ろう」では、講座の前半に育成環境、適温、用土、肥料等の解説を、後半は種を蒔くところまでの実習で、実際の緑のカーテン作りは各家庭で行っていただくという講座でした。

講座を受講された横地様から、緑のカーテンの写真とともに、出来栄をお知らせ頂きました。

『葉っぱが小さ目で隙間がたくさんありますが、なかなか上手にできたと思います。朝顔の花もきれいだし、小さいですがゴーヤも収穫できるようになりました。初ゴーヤは昨日サラダにしておいしく頂きました。夏本番、どちらもまだまだ楽しめそうです。講座に参加できてよかったです。ありがとうございました。』

品川区環境情報活動センター 講座ご案内

●世界の巨木を訪ねて知る自然の神秘

(中学生以上・一般)

写真の中で世界を旅しながら、森林と人や生き物とのかかわりの不思議を感じていただきます。

日時/10月26日(土)14時~16時
講師/吉田繁氏(写真家)



●どんぐりカレンダーを作ろう (小学生と保護者)

どんぐりを利用して、カレンダーを作ります。お気に入りの布や木の切れ端で自分だけの楽しい作品に仕上げます。

日時/11月10日(日)14時~16時
講師/門倉誠氏、池上景子氏
(㈱アズビル教育担当)



●LEDの灯籠(とうろう)作り

(中学生以上・一般)

灯籠の枠は段ボール、8つの面は画用紙、灯りはLEDです。また家庭のエコな照明についての工夫もご紹介します。

日時/11月16日(土)14時~16時
講師/小野文義氏、辻本喜律氏(東京サラヤ㈱)



●富士山の大自然を守ろう

(小学生高学年以上・一般)

世界文化遺産に登録された富士山には世界から人が集まります。富士山の美しい姿を写真を通して見ながら、環境を守るために、私たちに出来ることを考えます。

日時/11月24日(日)14時~16時
講師/外川英樹氏(写真家)



●ゴムのおもしろ実験 (小学生と保護者)

「環境に優しい」とも言われているゴムの木についてのお話と、輪ゴムやゴム風船などを使って楽しい実験をします。

お湯をかけると上下するペットボトル⇒
日時/12月1日(日)14時~16時

講師/久保利加子氏
(独)科学技術振興機構:理科大好きボランティア講師)



●端切れ布で作るクリスマスリース

(中学生以上・一般)

新聞で作った台に布の端切れを詰め込んで世界にひとつのクリスマスリースを作ります。

日時/12月8日(日)14時~16時
講師/竹中信子氏(リサイクルアート作家)



●【園芸講座】正月の寄せ植え

(中学生以上・一般)

植物の魅力、特徴、育成を解説し、梅に笹、ヤブコウジなど季節の草花を添えて、お正月の寄せ植えをします。

日時/12月13日(金)13時半~15時半
講師/金子興一氏(山草会会員)



★平成26年1~3月の講座

- ・エコ素材で'バスボム'(入浴剤)を作ろう(2月)
- ・江戸時代の仏像~エコに徹した仏像づくり/話(2月)
- ・【園芸講座】春の寄せ植え(3月)
- ・気象予報士から学ぼう(3月)

講座の名称、開催日、内容などはいずれも予定です。応募方法等については「広報しながわ」や品川区環境情報活動センターのホームページに掲載します。

しながわECOだより 2013年度Vol.2

発行:品川区都市環境事業部環境課

編集:特定非営利活動法人
エコタウンしながわ

発行日:平成25年9月18日

住所:〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX:03-5742-6533

E-mail:center@shinagawa-eco.jp

HP:http://shinagawa-eco.jp/

本紙は、古紙を配合した用紙で作成しています。

しながわ ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2013年度 Vol.3

第22回環境記者情報交換会（平成25年11月1日）

環境記者8名の出席のもとで開催されました。環境記者の皆さんの環境に対する関心や取り組みは様々で、お互い新鮮な話に耳を傾けました。

国道沿いの植込みや公園の美化に興味を持っています。所轄や管理の違いでスムーズにっていない面があるようです。地域で団結して良い方向に持って行けないものかと思えます。（西川さん）

東品川にある交通公園の近くで「歩きタバコはやめましょう」の声掛け運動をしていらっしゃる男性にお話を伺いました。「喫煙マナーの向上と地域美化にご協力を」のお願いを繰り返し、携帯灰皿を配布することもあるとのこと。（海さん）

住宅街でハクビシンに遭遇しました。空き家に住みついたりしているようです。環境変化により動物の行動も変化し、外来種であるハクビシンが夜な夜な出没する世の中になりました。（中西さん）



環境情報活動センターのLEDの講座でお話することになっていますが、LEDを購入する際の注意点などをお話したいと思っています。（辻本さん）

今年の夏は猛暑日が多く長い夏でしたが、ゴーヤが育って見事な緑のカーテンになり、暑さを和らげてくれました。（志賀さん）



39年間京浜運河を観て来て、外海から直接東京湾奥に流れ込む海の道があり、近年では運河の水はきれいになっている感じ。（青野さん）

「花交差点の仲間たち」で南大井2丁目歩道花壇の植替えをしました。半年に一度植込みをして、次回の植込みをする半年後までいかにしてもたせるか工夫をしています。（真壁さん）

今年の酷暑のせいか、花壇の花や葉がずいぶん痛みました。いつもなら観察できるアゲハ蝶の幼虫を観る時期が遅くなりました。年々気候の変化が大きくなっているのではないかと思います。（小野さん）

環境記者活躍中

福島県の被災地、被災者の今

11月に延べ8日間、福島県の原因事故被災地を回りました。行った主な所は、会津若松市門田町米農家、福島市笹木野梨農家、福島市松川町「かーちゃんの力・プロジェクト協議会」、南相馬市小高区米農家、相馬郡飯館村、双葉郡富岡町など、お伝えしたいのは以下の3つです。
①事故の影響は今も強く、多くの人々の苦しみが事故当時と変わらず続いている。



②事故が地域や友人、親子、夫婦の繋がりをずたずたに壊してしまった。

③そうした中で、コミュニティの再生に向けた、福島で生きていくための努力が少しずつですが、確かなものになってきている。

福島市や郡山市でも日常の放射線量は東京の10倍。飯館村や富岡町などでは、東京



（新居崎さん）

の100倍の所もあり、人どころか鳥も虫もいない、木が枯れてきた所もありました。

福島県の今は、私たちの生活や自然・環境への向き合い方を不断に問いかけています。多くの方が福島県を訪れ、これから何十年にわたって災禍が続く福島を忘れないでほしいと思います。

環境記者を募集しています

詳細は環境情報活動センターへ
TEL : 03-5742-6533
HP : <http://shinagawa-eco.jp/>

しながわの地球にやさしいお店

緑化隊

大井町の緑化の専門家で、家庭の植木の枝落としや伐採、屋上や壁面緑化のメンテナンスを行っており、屋上で育てた野菜の収穫時期にはイモ掘りイベントを行います。



リサイクルショップ あい

洋服をはじめ靴・バック・アクセサリーがおしゃれに処狭しと並んでいます。「使えるものは売れるように、そして使えるように」がモットーです。



TETEアロマテラピーサロン

アロマテラピーやハーブの検定講座などの講座を開催。「自然の香りに包まれた豊かな暮らしを提案」というボディートリートメント、フェイシャルなども行っています。



チャプリン武蔵小山店・戸越銀座店

両店とも商店街の中にあり、他のお店で断られた靴や鞄も丁寧に修理してくれるリペア店です。地元のお客様はもちろんのこと、ネット注文で全国から修理の依頼がたくさん届きます。



サヤマ園茶舗

静岡・牧の原にある信頼できる茶園・工場から直接仕入れ、安心して飲める健康なお茶を消費者に届けています。新茶は飲むだけでなく、新茶を入れて炊いたご飯もお薦め。



靴専科 戸越銀座店

シミや汚れのせいで“使わなくなった”、でも“捨てられない”愛着のあるバック・靴・皮製品等そんな時はどうぞ、「靴専科」にご相談ください。



「prix」(プリ)

環境にやさしいシャンプーの使用、貯湯タンクの設置などの環境対策を実施し、店の周年記念では、エコバックやエコマイ箸等を差し上げています。



フランクリン・アベニュー

ハンバーガー専門店。良いものを提供することで食べ残しが少なくなりエコにつながります。パンはさっぱり感、甘みを抑え、肉の味を邪魔しないよう手作りです。



ヘアサロン ロダン

地球環境やエコ対策に気を配っており、お店で販売しているシャンプーやトリートメント等は、お客様の地肌にやさしいだけでなく、水質汚染にも配慮した商品を取り扱っています。



パタゴニア

「必要な時に必要なものを購入していただく、吟味していただく事で製品の良さがわかり、長く愛用してもらい無駄を少なくする」というポリシーで、製品・輸送・販売まで環境に配慮しています。



黒兔

鹿児島県の産物が並ぶお店。お茶工場から出る茶葉廃棄物を利用して香を楽しむ、消臭材として利用する、肥料にして土に返すなど、資源の再利用を行っています。



木もれび

和食メニューが人気の「お茶とごはん処」。繰り返し使用する箸は竹製のものを丁寧に洗い、安心して使ってもらいたいとの心遣いが、地球へのやさしさにもつながります。



米魂

お米の味を活かして焼いたパンは、添加物はほとんど使わず保存料も使用していません。近年アレルギーの人もいるので現在、米粉100%のパン作りを目指しています。



CAFE and BAR sweet

スプーンやフォークのほかに、エコを心がけ、繰り返し使用できるエコ箸も用意してあります。ベークドチーズケーキは、オーナーのイチオシです。



冊子「しながわの地球にやさしいお店」（品川区都市環境事業部環境課平成23年6月30日発行）に掲載されたお店に対し、本紙への掲載についてお伺いし、ご了解が得られたお店を改めて取材しました。

スパゲティハウス オリーブ

LED照明も使っていますが、食品の色が変わらないということで、ルーブル美術館でも採用されている日本製のものを使っています。優しいひかりの中で雰囲気をかもし出しています。



ハレルヤ工房

もとは建具の作業場だったところを改造してはじめた店です。工房の中は工具や作業中の板材、なつかしい足踏み型のミシン、端材で作った波乗りヨットなど夢がぎっしりつまっています。



used accessories deco gigi(ジジ)

小さなお店の中はオーナーセレクトの新品の洋服や、色のきれいなブランド物の古着、靴アクセサリ、バッグ、スワトウのハンカチや小さな髪止めからメンズお洋服まで、なんでも揃います。



DOPELAND

シャンデリアのある広間にはレザーのソファが置かれ、小振りのガラステーブルから冷蔵庫、洗濯機、衣類などの日用品まで格安で購入できます。



生物多様性って何？ 生態系の多様性とは

様々な生きものは、地球の大きな胎動の中で多様な変化にさらされながら、培われてきました。地域で育まれた生きものと生きものつながりは、様々な変化に対して、その関係が「変われる力」をもっていることを意味します。

「変われる力」を持ったいろいろな種類がいることを「種の多様性が高い」と言います。

今回は、生態系の話です。

地球上にすんでいる動物や植物、微生物といったすべての生きものは、土や水、大気という環境の中で生きています。そして、太陽の光のエネルギーを源として、生きものとそれらを取り巻く環境がお互いに関わりあいながら、ひとつのまとまった仕組みと働きを形づくっています。このようなまとまりのことを、生態系といいます。私たち人間も、生態系を形づくるメンバーの一員です。



図1. 世界の主なバイオーム
(WWFネイチャーシリーズ5を一部改変)

この生態系は、世界の生物のまとまりの中にあり、このまとまりを生物群系せいぶつぐんけい（バイオーム）と言います。

バイオームは植物、動物、土壌生物の集まりを束ねた大きな分類になります。

ツンドラや温帯林、熱帯林、砂漠や海洋などに分けられ、様々な生態系が作られています。砂漠にも生態系があります。

(図1)

北海道から沖縄まで、南北に長い日本にも北方針広混交林や落葉広葉樹林、亜熱帯林などがあり、それぞれ異なった生態系があります。

(図2)

この世界中にある生態系も様々な環境の変化に対応して耐えていく「変われる力」を持っています。この生態系の多様性があるから私たちは、生きていけるのです。



図2. 日本列島の森林分布
(WWFネイチャーシリーズ5を一部改変)

草刈秀紀氏

(「野生生物と社会」学会フォーラム誌編集委員)

こんな講座を開催しました(平成25年10～11月)

●外来生物と自然環境の脅威について学ぼう

(一般) 10月6日

外来生物から自然を守る事が重要です。そのために様々な法律等がつけられています。私たちに出来ることを学びました。

●学研教材とペットボトルで水の竜巻を作ろう

(小学生と保護者) 10月13日

使い終えたペットボトルを使って「水の竜巻」作りや、水面に浮く1円玉の実験、魚つりゲームを行い、なぜそうなるかを学びました。

●世界の巨木を訪ねて知る自然の神秘

(一般) 10月26日

世界30カ国、約2,500カ所の巨木の取材から、世界の巨木や自然環境について、写真と動画での講義でした。

●どんぐりカレンダーを作ろう

(小学生と保護者) 11月10日

どんぐりに月、曜日、日にちを書き、間伐材を使ったパネルにどんぐりを繰り返し使える接着剤で張り付けました。

●LEDの灯籠(とうろう)作り

(一般) 11月16日

LED照明の選び方や取り付けの際の注意を聞いた後、段ボールと画用紙を使ってLEDの灯籠を作りました。

●富士山の大自然を守ろう (一般) 11月24日

「美しい富士山の環境と自然を守る」をテーマに、富士山を撮り続けている写真家が撮影した美しい写真を披露していただきました。

講座のご案内

江戸時代の仏像～エコに徹した仏像づくり

日時/2月8日(土)14時～16時

対象/一般 場所/品川歴史館

江戸時代は無駄の少ない、環境にやさしい暮らしをしていました。仏像造りにも様々な工夫が凝らされていました。



どんぐりの種まきと苗作り～被災地での植樹につなげよう

日時/2月23日(日)14時～16時

対象/4年生以下の小学生と保護者

被災地の緑の復興を応援する活動「どんぐりプロジェクト」に参加します。



エコ素材で香り豊かな入浴剤を作ろう

日時/2月9日(日)14時～16時

対象/小学生と保護者

浴槽のお湯に入れると溶けて炭酸ガスを発生させる入浴剤です。香りや溶ける際のシュワットという音も楽しむことができます。(花は装飾)



せっけんや重そうなど身近にあるもので実験をしよう

日時/3月9日(日)14時～16時

対象/小学生

家庭内にある物質の性質を調べたり、実験をすることから、新たな楽しい発見ができます。



園芸講座 春の寄せ植え

日時/3月11日(火)14時～16時

対象/一般

サギ草、ベニチガヤ等、植物の魅力、特徴、育成を解説していただき、実際に寄せ植えします。(花の種類は予定です)



講座の名称はいずれも仮称
開催場所は環境情報活動センター
(「江戸時代の仏像」を除く)
応募方法等については「広報しながわ」、
品川区環境情報活動センターのホームページにて後日掲載します。

春のこども環境講座 気象予報士から学ぼう～ストップ地球温暖化

日時/3月21日(祝),22日(土),23日(日)

各回とも14時～16時

対象/小学生

地球はどうして暖まるのか、その影響は、どうしたら防ぐことができるのか。実験や工作を通して学びます。



しながわECOだより2013年度Vol.3

発行：品川区都市環境事業部環境課

編集：特定非営利活動法人
エコタウンしながわ

発行日：平成25年12月17日

住所：〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX：03-5742-6533

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう

しながわ ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2013年度 Vol.4

環境学習講座のご案内（春～夏）

●今年こそ緑のカーテンを作ろう （中学生以上）

種まきから苗の植え付けまでを行い、あとは自宅での作業となります。
期日／4月27日（日） 募集／3月11日から
講師／丸山 均 <一例>
（しながわ区民公園管理事務所長）



●いろいろな色が見えてくる！？ エコで不思議な独楽（こま）作り （小学生と保護者）

間伐材を使ってこまを作り、手作りの喜びと不思議な現象に感動します。
期日／5月18日（日） 募集／4月21日から
講師／門倉 誠（アズビル㈱教育担当）



●小笠原諸島の自然（中学生以上）

小笠原諸島は、一度も大陸とつながったことがない島「海洋島」で、代表的なものにガラパゴス諸島があります。
期日／6月8日（日） 募集／5月11日から
講師／倉田智子
（環境省環境カウンセラー）



●間伐材を使った体験学習 （小学生と保護者）

のこぎりを使って木（間伐材）を切る作業や、積み木の積み立てを競うゲームをします。積み木はお持ち帰り頂きます。
期日／6月15日（日） 募集／5月11日から
講師／佐々木重孝
（㈱樹楽製作所プラントマネジャー）



●普及が進むLED照明（中学生以上）

LEDの省エネ効果、取り換えるタイミング、より効果的なLED照明の使い方を学びます。
期日／6月29日（日） 募集／5月21日から
講師／小宮章利（AK・LEDライティング・オフィス代表）



●新エネルギーと風力発電機作り （小学生と保護者）

石油や再生可能エネルギーを利用して電気はどのようにして作られているかや、その働きを知ります。夏休みの自由研究の参考にもなります。
期日／7月6日（日） 募集／6月11日から
講師／奥村 実（再生可能エネルギー推進協会理事）



ペットボトルを使った風車

●コラージュで飾る♪ 保温・保冷マグカップ作り（中学生以上）

コラージュ入門！簡単なデザインアートのお話の後、雑誌の切抜きなどを使い、オリジナルマグカップを作ります。
期日／7月13日（日） 募集／6月11日から
講師／大野有紀子（リサイクルアート作家）



●園芸講座 春の寄せ植え（中学生以上）

桔梗と風知草を苔玉に植え替えて、オリジナルのオブジェを作ります。植物の魅力、特徴、育成について解説し、実際に寄せ植えをします。
日時／5月27日（火）13時半～15時半
募集／4月21日から
講師／角方悦子（秋草会会員）



講座の名称、期日（時間：園芸講座以外は、14:00～16:00）、内容などはいずれも予定です。

応募方法等については「広報しながわ」や品川区環境情報活動センターのホームページに掲載します。

しながわ環境大賞授賞式・みどりの顕彰式

平成26年2月15日(土) スクエア荏原 1階ひらつかホール

しながわ環境大賞は今年度で8回目を迎え、区内で環境保全に関する優れた活動をしている団体を顕彰し、その活動を広く区民に紹介することを目的としたもので、今年は3団体が環境大賞を、6団体が環境賞を受賞しました。

しながわ環境大賞

「みどりの顕彰制度」は今年度で15回目を迎えます。地域の環境や景観の向上に資するような、優れた緑化を行った方々を顕彰し、区民の緑化に対する意識の向上を図るために設けられた制度で、今年は緑化大賞、緑化賞各1物件でした。

緑化大賞



しながわ環境大賞受賞団体の活動をご紹介します

●目黒川みんなのイルミネーション 実行委員会

目黒川みんなのイルミネーション



平成23年からJR大崎・五反田駅間の1.5kmをLED電球でイルミネーション装飾を行い、街のにぎわいを演出している活動で、その電源に地域の家庭、飲

食店、品川資源センターの協力で集めた使用済食用油を活用しています。



●大井一丁目鑑町寿会 花いっぱい活動



平成18年から高齢者クラブの会員により四季折々の草花を植え、近隣住民とコミュニケーションを取り

ながら緑豊かな住みよい街づくりを行っています。



●小野学園女子中学・高等学校 大井町自然再生観察園

(都会における自然環境の復元)



平成20年から大井町自然再生観察園でホテルが自生できる環境づくりに取り組み、多様な生物が生息する山里

環境を目指して活動しています。



環境賞

ソニー株式会社 株式会社明電舎「自然観察会の共同実施」、ダウ・ケミカル日本株式会社「環境保全活動から導く社会貢献」、もでらーと「しながわっ子&うえだっ子ふれあいキャンプ」、品川区立大井倉田保育園「保育園と家庭で育てたい、環境を大切に作る心の芽生え」、品川区立西五反田保育園「もったいないをなくそう！にしごランド!」、品川区立荏原第六中学校「ハートウォーミング六中」

緑化大賞受賞団体の活動をご紹介します

- **プラウド大井ゼームス坂**
- 野村不動産株式会社(事業者)
- 株式会社安藤・間一級建築事務所(設計者)
- 株式会社日建ハウジングシステム(設計者)
- プラウド大井ゼームス坂管理組合(管理者)



多様な樹種と大きめの高木を効果的に配置し、屋上やバルコニーも多く緑化され、居住者及び周辺住民からも緑が目につくよう整備するなどの工夫が見られます。



緑化賞

- 東急ウェリナ旗の台
- 東京急行電鉄株式会社(事業者)
- 株式会社INA新建築研究所(設計者)
- 有限会社松鹿設計製作所(設計者)
- 東急ウェルネス株式会社(管理者)

大井町自然再生観察園

「しながわ環境大賞」を受賞された小野学園の小澤先生に、大井町自然再生観察園についてご紹介をしていただきました。

現在（2月中旬）の大井町自然再生観察園は、多くの木々が葉を落とし、春の訪れを待っている様子です。1月下旬～2月上旬にかけては、ふきのとうが芽を出し、春を感じることができます。

まだまだ寒い日が続きますが、植物の方も春にむけて準備をしているようです。小川では、ゲンジボタルのえさとなるカワニナを見ることができます。ホタルの幼虫は、川底などに隠れて



しまいを見つけることは難しいですが、今年も6月に羽化し成虫になることを楽しみに、日々観察・管理活動などを小野学園女子中学・高等学校の生態環境調査委員（中学生）と行っています。暖かくなりましたら、ぜひ足を運んでいただければと思います。

開園時間は毎週木曜日13時～16時30分です。

昨年6月のホタルの飛翔の様子(左)と春の様子(右)



小野学園女子中学・高等学校 小澤良水先生

生物多様性って何？ 自然からの恵み

自然からの恵みとはどんなことでしょうか？

法律の条文では「人々は生物の多様性のもたらす恵沢を享受している」と書かれています。いきものを育む自然からの恩恵を受けていることを表しています。

私たちが住む、地球の環境とそれを支える自然は、人々を含む様々な命の織りなす長い歴史の中で、つくられてきたかけがえのないものなのです。

自然は、人をはじめとして生けとし生けるものの母胎であり、厳粛で微妙な法則を持ちつつ調和をたもつものなのです。

そして、自然は私たちの暮らしに必要な食料や水の供給、気候の安定化など、維持された生物の多様性の基盤とされる生態系から得られる恵みによって支えられています。この恵みを「生態系サービス」と呼んでいます。

近年、生物多様性や生態系サービスなどの「自然」の恵みから得られる価値が明らかになってきました。

人々が直接的または間接的に利用することで得られる「利用価値」と利用することなく、その自然を守ることで生まれる「非利用価値」に分けることができます。利用価値には、衣食住に重要な「直接的利用価値」、自然を親しむ、または洪水を抑制するなどの

「間接的利用価値」、遺伝資源から得られるものとしての「オプション価値」があります。非利用価値には、自然遺産地域のエコツアーなどで学ぶなどの「遺産価値」があります。

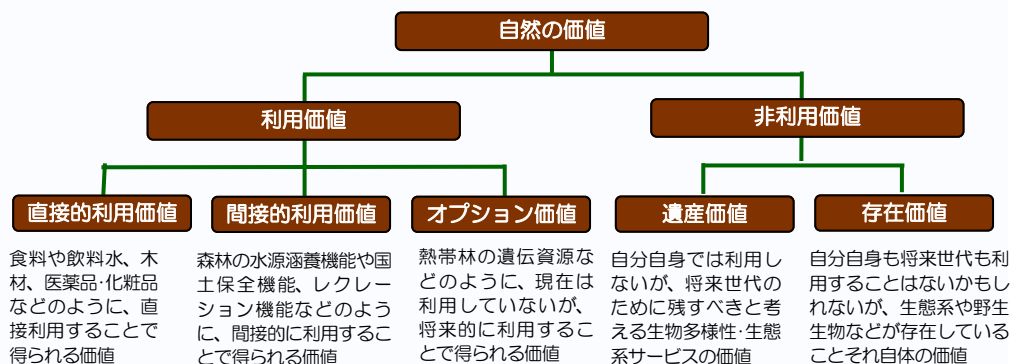
そして最後に「存在価値」があります。

自然は、それ自体に大きな価値があり、将来にわたって保全すべきものなのです。

私たちは、将来の世代の人々が未来永劫、自然の恵みが受けられるように、自然の大切さを「伝承」して行かなければなりません。



自然の価値が高い屋久島
http://www.biodic.go.jp/biodiversity/activity/policy/valuation/pu_d12



※参考「生物多様性の経済学」 馬奈木俊介、地球環境戦略研究機関 編者
出典：<http://www.biodic.go.jp/biodiversity/activity/policy/valuation/shuhou.html>

草刈秀紀様（「野生生物と社会」学会フォーラム誌編集委員）

平成25年度はこんな講座を開催しました

環境情報活動センターでは、「環境」をテーマとした楽しい講座を30日以上開催しています。みなさまのご参加をお待ちしています。

開催月日	テーマ	対象	
4/28,29	さき布から「ぞうり」を作ろう	一般	
5/6	牛乳パックで作る「紙トンボ」と「びっくり箱」		小学生
5/12	今年こそ緑のカーテンを作りましょう	一般	
5/19	私にも始められる育エネ・省エネ生活	一般	
6/16	知って得するLED照明を使ってみよう	一般	
6/23	手回し発電機での発電実験と簡易モーター作り		小学生
6/30	夏休みに向けて「自然に親しむ」達人になろう		小学生
7/7	新エネルギーの現状と今後	一般	
7/14	牛乳パックとペットボトルを使って不思議な噴水を作ろう		小学生
夏休み こども環境講座	生きもの博士になろう①②③（7月21,28,29日）		小学生
	キッチンからはじめるエコロジー①②③（8月7,8,9日）		小学生
8/11	間伐材を使って楽しい工作をしよう		小学生
8/23	段ボールおもしろ教室～子ども用のイスを作ろう		小学生
9/8	台風と地球温暖化	一般	
10/6	外来生物と自然環境の脅威について学ぼう	一般	
10/13	学研教材とペットボトルで水の竜巻を作ろう		小学生
10/26	世界の巨木を訪ねて知る自然の神秘	一般	
11/10	どんぐりカレンダーを作ろう		小学生
11/16	LEDの灯籠（とうろう）作り	一般	
11/24	富士山の大自然を守ろう	一般	
12/1	びよよ～ん！ゴムのおもしろ実験		小学生
12/8	端切れ布で作るクリスマスリース	一般	
12/13	お正月の寄せ植え＜園芸講座＞	一般	
(H26年) 2/9	エコ素材で香り豊かな入浴剤を作ろう		小学生
2/19	江戸時代の仏像～エコに徹した仏像づくり	一般	
2/23	どんぐりの種まきと苗作り～被災地での植樹につなげよう～		小学生
3/9	せっけんと重そうなど身近にあるもので実験をしよう		小学生
3/11	春の寄せ植え＜園芸講座＞	一般	
春の こども環境講座 (*)	気象予報士から学ぶ気象と環境①②③（3月21,22,23日）		小学生

(*)3月11日現在
開催予定



しながわECOだより2013年度Vol.4

発行：品川区都市環境事業部環境課

編集：特定非営利活動法人

エコタウンしながわ

発行日：平成26年3月13日

住所：〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX：03-5742-6533

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています